

くさか景子の ちょっ よろしいですか！

と

毎月発行 県政情報紙 2010年4月 Vol 35



湘南に電気自動車(EV)が走ります！ 市のEV車に試乗しました



神奈川県では、地球温暖化対策の一環として、EV車と太陽光発電の普及を進めています。茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町の2市1町では、湘南エコウェーブの統一のEV車を公用車として活躍しています。

3月28日には、市営駐車場に太陽光発電によるアルバックのEV充電急速充電器1台、通常充電器3台を稼働。それに先駆けて、3月25日私は、充電器の見学とEV車で市内を实际走ってみました。

EV車(三菱のアイミーブ)は、軽自動車ですが、中はわりと広く、走り出しはスムーズ、音は全くしません。逆に危険なので音をつける必要があるそうです。排気ガスはゼロ、CO2量はガソリン車の1/4、石油資源の消費を減らせる利点がありますが、いかんせんまだ約400万円くらいと高額。補助金制度としては、電気自動車と通常車両の本体価格の差額の1/2を国が補助し、さらにその1/2を神奈川県が補助する仕組みがあります。今年度は、5人乗りの乗用車も発売予定です。



茅ヶ崎駐車場の急速充電スタンドの前で

急速充電では満タン25分、通常充電器は7時間や10時間以上かかり、充電に時間がかかるのと、満タンで160キロ走るが、エアコンなどを使えばさらに下がります。また、充電器がそれほど普及していないので、市内は走れるが遠出のドライブには限界があります。



いろいろ難点がありますが、駐車場無料、充電無料、軽自動車税免除、家で充電しても満タンで200円くらいと安いと言う特典があります。

いよいよ4月から一般にEV車が販売されますが、普及するには時間がかかりそうです。しかし、地球温暖化は待ったなし…。市内にEV車がたくさん走り出すとまちは変わっていくでしょう。

市民と医師が本音で語る 第3回 医療危機を考える懇談会 これでいいのか日本の医療

これまで、一部の学者の下で医療制度改革が進められてきました。互いにお助け合う制度であったはずの健康保険制度は崩壊寸前。経営効率、利益優先、今医療は崩壊の危機に立たされています。

日時 2010年5月15日(土) 13:30~16:30 場所 横浜市職能開発総合センター4F 大会議室
横浜市中区山下町253番地 TEL 045-651-0346

事例報告

1. 池川明氏(池川クリニック院長 神奈川県保険医協会会長)
2. 澤田石順氏(鶴巻温泉病院/回復期リハビリテーション病棟専従医)
3. 葉梨之紀氏(海老名市医師会会長)

連絡先 事務局 依岡桂美 TEL 090-9698-1443 eメール fzp05704@ybb.ne.jp